2023年（令和5年）
3月24日
（金曜日）

THE KENSETSU MIRAI TSUSIN
建設未来通信

茨城全県版
発行所：茨城県水戸市笠原町1523-3 桂ビル2階
TEL:029-291-8855 FAX:029-291-8854
https://www.kensetsumirai.co.jp
新聞購読料 月額5,940円（税込）
電子版購読料 月額4,400円（税込）

設計&監理
（一社）茨城県建築士事務所協会会員
株式会社 柴建築設計事務所
水戸市泉町3丁目1番28号第二中央ビル7階
TEL.029－227－0222［代］FAX.029－231－0960

いばらきの公共事業
～歴史をたどり、後世に残す～
県水戸土木事務所編⑥

期待ふくらむ“茨城空港”「活躍するエントランス道路」
渡邊 一夫 氏 × 山中 博 氏
元県土木部長（当時・県水戸土木事務所長）　元県企業局次長（当時・旧小川町空港対策課長）

私が水戸土木事務所長の時、“茨城空港”はまだ開港しておりません。茨城空港は百里飛行場の民間共用化により誕生した空港です。年間80万人程度の利用者が見込まれ、開港までに各方面からのアクセス道路の整備が求められておりました。この道路には本庁時代から携わっていましたが、後に開発公社で本体工事や公園工事などに関わることになるとは、この時はまだ夢にも思いませんでした。

当時、東関東自動車道は、北関東自動車道から茨城空港北インターチェンジ（IC）までの整備が行われており、ここからのアクセスとして県道紅葉石岡線バイパスを、また、常磐自動車岩間ICから県道上吉影岩間線バイパスの整備を進めておりました。

この他の周辺道路についても、交差点改良や歩道整備など、きめ細かく事業を進めておりました。

こうした事業の中で思い出されるのは、現在、茨城空港線となっている約3kmのエントランス道路です。茨城空港線は、茨城空港と県道紅葉石岡線を結ぶ道路。地元・小美玉市（当時の小川町）の協力をいただきながら、用地取得を進めておりました。

この道路は、将来を見据えて立派な4車線道路として計画していましたが、スピード感が必要だったため、当面2車線で供用させることにしました。

通常、暫定2車線道路は半断面をつくり、上り下りに使うのですが、茨城空港は羽田空港や成田空港を補完する首都圏第三の空港。言わば本県の空の玄関口です。

県内外はもとより、海外からもたくさんの方々が利用することを見越して、エントランス部の見栄えを良くするためにもっと工夫ができないかと関係者で知恵を絞りました。

そこで、まずは上り下りの外側車線と歩道をつくることにしました。内側車線と中央分離帯は後回しです。これで広くゆったりとした道路となり、心地よく車を走らせることができます。

見栄え 工夫 外側車線と歩道を先行

また、両側の沿道利用がしやすくなり、周辺のまちづくりにも貢献することができます。実際、現在は茨城空港の供用後に完成した、空のえき「そ・ら・ら」へのスムーズな出入りに役立っております。

その反面、交差点処理や排水対策には苦労しました。交差点は広くなりすぎないようにし、排水は空いている中央部に土側溝をつくることでスムーズに流末へ持っていくようにしました。

こうした工夫は早く完成させられるだけでなく、当面の工事費も抑えることができます。まさに関係者の努力の賜物です。

こうして、暫定ではありますが、本県の空の玄関口としてふさわしい、とても立派なエントランス道路が完成しました。

後日、このエントランス道路は常磐自動車道石岡小美玉スマートICまで延伸され、現在では生活道路としても、アクセス道路としても大活躍しています。

また、茨城空港はもちろん、「そ・ら・ら」のにぎわいにも貢献しているようで、地元に喜ばれる道路となったことを嬉しく思います。

私は2004～05年度の2年間、小川町（現小美玉市）へ2代目の空港対策課長として出向していました。当時は、百里飛行場（現茨城空港）民間共用化に向けて、関連する事業用地取得が本格化していました。

スムーズに事業を進めるために、国事業である本体（滑走路1本増設等）工事に伴う事業説明・用地取得調整、県事業である空港アクセス道路の用地取得、開発公社事業である隣接する工業団地（茨城空港テクノパーク）の用地取得など、3つの業務について担当を分けて、昼夜を問わず事業説明や用地交渉を進めました。

地元では以前からの自衛隊機騒音問題に加え、新たな大型旅客機による騒音、そして首都圏に近い空港整備への需要不安や地元への経済効果などの問題がありました。市町村合併（06年3月）を控えた旧美野里町、旧玉里村からも多くの意見をいただき、地元の推進協議会や議会全員協議会の協力もあり、用地取得が軌道に乗り始めました。

今でも思い出に残っているのは、茨城空港線は4車線計画であったことから、農地を所有している方々の多くの土地を分断して取得する必要があったこと、また、本体工事に必要な土地にある建物・用地取得に関する調整などに特に難航したことでしょうか。

中でも用地取得とともに地元調整に時間を要したことがありました。それは拡張する整備地に必要となる新設の雨水調整池から河川までの間、地元管理の農業排水路を使用するため、その排水負荷や洪水被害拡大に対する不安の払拭でした。

何度も地元説明を行いましたが、幸い河川課にいたころに携わっていた開発行為に伴う調整池設置の調整業務の経験が活き、何とか理解を得ることができたため、大きな進展となりました。

その後も水戸土木事務所で調整池や駐車場などの整備に、道路建設課で関連道路の開通式などに携わることができ、開港に向けての一助になったのではないかと思っております。

1960年9月10日生まれ。62才。神栖市出身。1983年に県庁へ入庁し、現在の検査指導課に初配属。2004～05年、小川町（当時）の空港対策課長として出向。企業局技監兼施設課長を経て、21年3月に企業局次長で退職。

いばらきの公共事業を紐解く

プロポの審査結果公表
新公会堂 基本構想など支援業務
古河市

古河市は、（仮称）古河市新公会堂基本構想・基本計画策定支援業務委託に係る公募型プロポーザルを実施した。審査の結果、シアターワークショップ・日本工営都市空間JVを優先交渉権者に選定。契約の締結、業務開始は4月以降、委託期間は2025年3月31日までを予定している。同施設は、市民の文化芸術活動と交流の拠点機能をメインとした施設として検討を進めている。

支援業務では、施設の目的やニーズの把握、立地・規模の確定、施設イメージの集約などを検討していく。業務概要は、建設候補地における周辺環境への影響分析などの基本調査、建設候補地の選定などの支援業務、民間活力導入の可能性調査など。

市の検討報告書によると、建設候補地は古河駅周辺から古河駅東部周辺エリア、諸川周辺エリアの2箇所。この候補地以外にも適地があった場合、改めて検討する。

コンセプトは「だれもが気軽に文化芸術を体感し、表現できる空間と、次世代への機会の創出」としている。基本的な役割には、文化芸術の拠点、新たなコミュニティの形成、次世代の育成、まちづくりの推進などを挙げている。

防災拠点としての役割も求められ、災害発生時の防災活動、支援活動での利活用も想定する。

市が直営で事業を実施した場合の想定スケジュールでは、26年度より基本・実施設計にかかる予定だが、民間活力を導入する場合はスケジュールを組み直すとのこと。

市民の意向も反映していくため、市民参加の委員会設置、ワークショップ開催、市民アンケート、関係団体へのヒアリングなどを行いたい考えだ。

旧公会堂は2008年に閉鎖した。1960年竣工。延べ面積は約956㎡。定員は、いす席700人、立席200人の計900人。市民の演奏会や発表会、地域劇団の稽古や公演会などに利用された。

単独で土地改良事業
栗崎地区など排水路工実施
水戸市

水戸市は新年度、市単土地改良事業として栗崎地区の排水路工などを実施する。予算額は4730万円。予算の内訳は、市単土地改良事業が2280万円、土地改良事業補助金が2450万円。

この事業は、農業生産性の工場や農業経営の安定を図るため、農業用排水路などの小規模な農業用施設を整備するもの。

排水路整備事業としては、栗崎地区（排水路工L170m）に600万円、根本地区（排水路工L80m）に420万円、渋井地区（排水路工L19m）に170万円、全隈Ⅷ地区（排水路工L15m）に90万円。

農道整備事業では、相木地区の農道整備（L270m）に600万円を配分。整備事業の成就院池八ツ橋改修工事には300万円を盛り込んでいる。

このほか、付帯事務費等として境界測量などに100万円。

土地改良事業補助金については、国県補助土地改良事業補助金に1700万円を盛り込み7地区の補助を実施。

市単土地改良事業補助金は10地区に750万円を盛り込んだ。

情報システム更新へ
プロポで内田洋行を選定
下妻市

下妻市は、情報セキュリティ強靭化システム更新業務の公募型プロポーザルを実施。その結果、優先交渉権者に㈱内田洋行（東京都江東区）を選定した。契約締結は3月下旬を予定している。

履行期限は、機器導入期限が7月31日まで、機器利用が8月1日から2028年7月31日までの60カ月。

市のシステムが更新時期を迎えており、業務効率・利便性にも課題があることから、合わせて現行の強靭化環境における運用上の課題を改善するため、再構築を行う。履行場所は市役所新庁舎。業務内容は機器のセットアップ、基本設計、詳細設計、システム構築、運用テスト等。

業務の対象範囲は、運用上の課題改善に係る新たな運用環境構築（運用保守は別途）、現行環境維持に必要な既存機器の更新等に係る一連の作業（機器調達および設定調整、設定変更、データ移行、切り替え等）。

工事発注は6月メド
石神小の空調設備改修
東海村

東海村は、石神小学校の空調設備改修工事を計画している。2023年度の当初予算案では、事業費として8910万円を計上。6月ごろに工事の発注を行いたい考えだ。

耐用年数を迎えた空調設備機器の更新を行う。職員室や会議室、保健室、ランチルームなどのエアコンの入れ替えを予定している。授業に支障をきたさない夏休み期間に工事を開始する計画とのこと。

石神小学校（石神外宿1055）は03年築のRC造3階建て、延べ床面積が7013㎡。

28日に市政懇談会
23年度の予算を説明
笠間市

笠間市は市政懇談会を28日㈫午後3時30分から笠間ショッピングセンターポレポレシティ（赤坂8）で開催する。山口伸樹市長が2023年度の予算を説明する。事前申込みは不要。

市では山口市長が市民と意見を交換する市政懇談会を行っており、18日には市役所本所と地域交流センターいわまで実施した。

担当は秘書課（電話0296－77－1101）。

副市長に木村博貴氏
現市長公室長、4月から就任
龍ケ崎市

龍ケ崎市は4月1日から、副市長として木村博貴氏（現市長公室長）を選任する。木村氏は3月31日付で市職員を退職する。副市長は、前任者の退職以来約2年ぶりの選任となる。任期は2027年3月31日までの4年間。

木村氏は1965年11月10日生まれの57歳。1988年に龍ケ崎市役所に入庁。交通防犯課長や企画課長、教育部長などを歴任した。

萩原勇市長は木村氏について「本市の企画部門や都市計画部門をはじめ、子育て支援や環境行政にも精通している。木村副市長とこれまで以上に力を合わせ、本市の掲げる政策を推進してまいりたい」とコメントした。

優秀11作品が見事受賞
第9回茨城学生建築展
県建築士事務所協会

県建築士事務所協会（舟幡健会長）による第9回茨城学生建築展の審査会がこのほど実施され、各賞の受賞者が決定した。事務所協会賞には水戸日建工科専門学校2年の今井千聖さん、岩田陽由莉さん、根本歩さんの作品「町と人の波 ～平磯地区活性化計画～」が選ばれた。受賞作品のプレゼン動画はYouTubeで公開している。

同協会では、建築文化の向上・発展などに資する活動を実施しており、その一環として茨城学生建築展を開催。学生同士の交流を深めるとともに、優秀な作品を表彰することで、建築設計業界が社会に貢献するための下地づくりを行っている。

協賛は県建築センター、県建築士会、日本建築家協会関東甲信越支部茨城地域会、日本建築学会関東支部茨城支所。笠間市などが後援。

今回は大学3校・専門学校3校・高等学校3校から計32作品の応募があった。2月16日に審査会が開かれ、審査結果が決定。同月25日には笠間市地域交流センターいわまで表彰式が挙行された。

応募作品一覧は、同協会のHP（https://www.i-jk.org/exhibition/student/）に掲載しており、受賞作品のプレゼン動画へのリンクも貼られている。

受賞作品は次のとおり（■受賞者＝作品名。敬称略）

【笠間市長賞】
■増田美紅（茨城大学）＝拠り所の再興 －木枯神社とまちを繋ぐ親水空間－

【県建築士事務所協会賞】
■今井千聖、岩田陽由莉、根本歩（水戸日建工科専門学校）＝町と人の波 ～平磯地区活性化計画～

【県建築士会賞】
■大野紗英（筑波大学）＝そとばた会議物語 －外湯から広がる語らいの街－

【JA茨城賞】
■古谷亮太（筑波技術大学）＝居住者たちが自営する長屋の町並み

【建築学会茨城賞】
■戸田空大、宮内陽己、染谷巧、島村瑠奈、坪井彩美（筑波研究学園専門学校）＝華のある街 ～古河市のリノベーション計画～

【県建築センター賞】
■村上由衣（茨城大学）＝環 －樹木葬による循環的葬儀場－

【茨城新聞社賞】
■生田羽月・松崎愛琉（つくば工科高等学校）＝家族の隠れ家 リゾート地の新しい住まい

【奨励賞（第一熱学建設㈱）】
■長井春雅くらら（筑波大学）＝生命の種

【奨励賞（㈱新日東）】
■羽根坂知佳（文化デザイナー学院）＝「つくる・つたえる・つながる」

【奨励賞（日建学院）】
■関根龍人（水戸工業高等学校）＝キューブ ハウス

【奨励賞（総合資格学院）】
■渡邉幸宏、福田蓮、横田慎人（下館工業高等学校）＝「広々とした家族時間」

県土木部・幹部 きょうの動向
（○＝在庁 ●＝不在）

	午前	午後
【本課】		
部長	○	○
次長（事）	○	○
次長（技）	○	○
都市局長	○	○
港湾振興監	○	○
企画監	○	○
監理課長	○	○
用地課長	○	○
検査指導課長	○	○
道路建設課長	○	○
道路維持課長	○	○
河川課長	○	○
港湾課長	○	○
営繕課長	○	○
都市計画課長	○	○
都市整備課長	○	○
下水道課長	○	○
建築指導課長	○	○
住宅課長	○	○
【出先】		
水戸土木所長	○	○
常陸大宮土木所長	○	○
大子工務所長	○	○
潮来土木所長	○	○
土浦土木所長	○	○
筑西土木所長	○	○
常陸太田工事所長	○	○
高萩工事所長	○	●
鉾田工事所長	○	○
竜ケ崎工事所長	●	○
常総工事所長	●	●
境工事所長	●	○